



一般社団法人 National Clinical Database (NCD) が行う 外科手術・治療情報データベース事業への参加について

当センターでは、平成 23 年 4 月から一般社団法人 National Clinical Database (以下「NCD」という)が行うデータベース事業に参加することになりました。

NCD の立ち上げには、関連する多くの臨床学会が連携し、わが国の医療の現状を把握することを目的に設立されました。この事業を通じて、患者さんにより適切な医療を提供するための専門医の適正配置が検討できるだけでなく、最善の医療を提供するための各臨床現場の取り組みを支援することが可能となります。

当センターでは、消化器外科及び心臓血管外科の手術と治療に関する情報を NCD に登録することになりますので、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

1. 本事業への参加について

本事業への参加は、患者さんの自由な意思に基づくものであり、参加されたくない場合は、データ登録を拒否して頂くことができます。なお、登録を拒否されたことで、日常の診療等において患者さんが不利益を被ることは一切ございません。

2. データ登録の目的

NCD では、体系的に登録された情報に基づいて、医療の質改善に向けた検討を継続的に行います。NCD 参加施設は、日本全国の標準的成績と対比をする中で自施設の特徴と課題を把握し、改善に向けた取り組みを行います。

3. 登録される情報の内容

登録される情報は、日常の診療で行われている検査や治療の契機となった診断、手術等の各種治療やその方法等となります。これらの情報は、それ自体で患者さん個人を容易に特定することはできないものですが、患者さんに関わる重要な情報ですので厳重に管理いたします。情報の取り扱いや安全管理にあたっては、関連する法令や取り決め(「個人情報保護法」、「疫学研究の倫理指針」、「臨床研究の倫理指針」、「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン」等)を遵守します。

4. 登録される情報の使われ方

登録される情報は、参加施設の治療成績向上並びに患者さんの健康の向上に役立てるために、参加施設にフィードバックされます。この際に用いられる情報は集計・分析後の統計情報のみとなりますので、患者さん個人を特定可能な形で、NCD がデータを公表することは一切ありません。情報の公開にあたっては、NCD 内の委員会でも十分議論し、そこで承認を受けた情報のみが公開の対象となります。

登録されたご自身のデータをご覧になりたい場合やご不明な点は、主治医にお問い合わせください。